


## 第4章 歴史テーマと関連文化財群



第1節 歴史テーマと関連文化財群の考え方

第2節 関連文化財群の設定

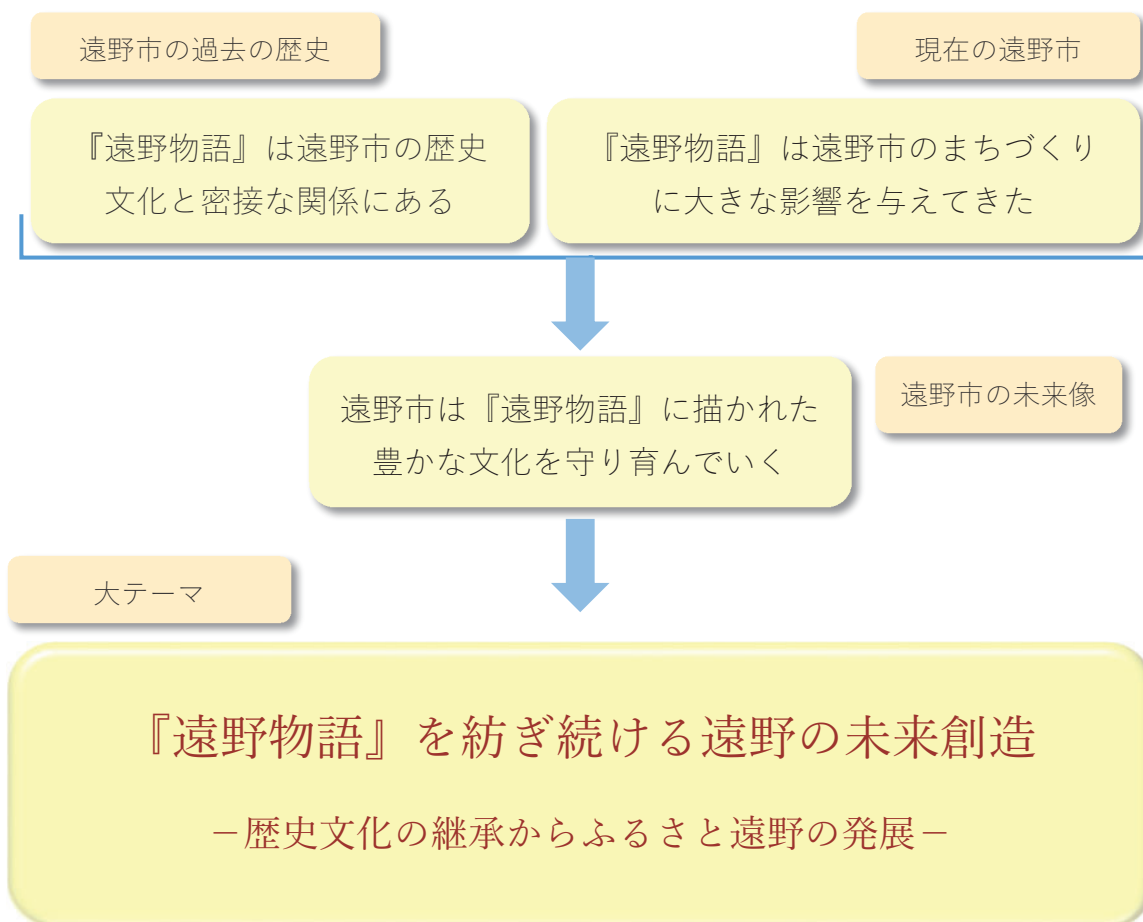
## 第4章 歴史テーマと関連文化財群

### 第1節 歴史テーマと関連文化財群の考え方

#### (1) 歴史テーマの設定

明治43年(1910)6月14日に出版された『遠野物語』は、柳田國男が遠野の佐々木喜善と出会い、遠野に語り継がれたさまざまな事象をまとめたものです。その内容には、古くから語り継がれた伝説、信仰や歴史的背景と深く関わった話が多数存在しています。また、この作品は日本民俗学の誕生を告げる記念碑的存在で、優れた文学作品としても高く評価され、今も多くの人々に読み継がれています。このような内容と評価を受ける『遠野物語』は、第1章、第2節 遠野市における文化的施策の展開で整理した、伝承園や遠野ふるさと村といった、文化を活かしたハードとソフトの両面を包括した、遠野のまちづくりの中に色濃く反映されてきました。

これらのことから本構想では、第2章でまとめた遠野の歴史文化と密接な関係にあり、市の施策においても大きな影響を与えてきた『遠野物語』を基本構想の象徴的大テーマとして設定しました。



この大テーマは、第1章で掲げた歴史文化基本構想策定の目的に沿って、様々な伝説をまとった遠野の歴史文化を、周辺環境や文化財を支える人々の活動を含めた新たな視点で価値を顕在化、地域の魅力として位置づけ、市民協働により伝承文化が薫るふろさと遠野を創造していくための基本理念です。

## (2) 関連文化財群の考え方

関連文化財群は、周辺環境を含めた指定、未指定を含む既存の文化財資料及び新たに調査で確認された資料を文化的資産と捉えて、文化財に関わる人々の活動を一体的に保存・活用していくため、前述したテーマの基にある様々な事象を語るストーリーとして設定するものです。

この様な関連文化財群の考え方に沿って、第2章でまとめられた遠野の歴史文化の特徴と、構成要素となる文化財を基に関連文化財群を検討しました。文化財の多くは市内全域に広く分散しており、文化が継承されることにより、古い時代の文化と新しい文化とが混在し、多種多様な文化的資産として重層的に存在しています。この様な状況を踏まえ、市が設定する関連文化財群は、特定地域に縛られず、大テーマを基軸として、『遠野物語』以前と『遠野物語』以後の歴史の変遷過程の画期を捉え、4つの段階に大別したストーリーとしてまとめることとしました。

また、関連文化財群の内容について、第2章で整理した遠野市の文化財を、現時点における遠野の文化的特徴に関する種多様な文化的資産として捉え、構成要素として抽出するため、①～⑩のガイドラインを設定しました。

### 【文化的資産として抽出する構成要素のガイドライン】

- ① 指定文化財などを構成要素とする。
- ② 守り伝える文化的資産として認定された遠野遺産を構成要素とする。
- ③ 遠野にとって特徴的な未指定文化財を構成要素とする。(例：遠野物語関連資料、佐々木喜善資料、その他歴史資料、調査報告書録掲載文化財)
- ④ 民俗芸能や語り部、継承されている慣習・民俗行事を構成要素とする。
- ⑤ 狩りや茅葺、馬耕など、文化を継承するための関連技術を構成要素とする。
- ⑥ 遠野市の歴史的風情を留めた宿場町や農村景観を構成要素とする。
- ⑦ 未指定の歴史的建造物は調査に基づく価値付けに基づき構成要素とする。
- ⑧ 生業と関連する土地及び代表的食文化を構成要素とする。
- ⑨ 遠野市が文化財を活用した施策として設置した施設を構成要素とする。
- ⑩ 観光資源となっている文化的資産を構成要素とする。

## 第2節 関連文化財群の設定

前述した考え方にに基づき設定した4つの関連文化財群の名称は、地域固有の特色を示す大テーマの基にある様々な事象から導き出されるストーリーを表現するものです。本構想における大テーマの特徴とした『遠野物語』は、遠野の歴史文化と密接な関連性を有していることから、関連文化財群の名称として『遠野物語』から、各関連文化財群の内容に沿った文節を引用しました。

『遠野物語』とすべての構成要素が直接的に関係しているわけではありませんが、遠野の歴史や様々な文化が存在していなければ『遠野物語』の誕生はなく、その確たる背景としての歴史や文化があり、現在においても遠野の地域づくりや文化の中に息づき、未来を創造していく上でも重要な指針の一つであることから、遠野を象徴する特色として表現したものです。

### 第1 関連文化財群 「大昔はすべて一円の湖水なり」

『遠野物語』の原点となる想像的世界を生み出した自然と原始・古代の文化

### 第2 関連文化財群 「山奥には珍しき繁華の地なり」

『遠野物語』の胎動となる骨格社会を形成した中近世の文化

### 第3 関連文化財群 「馬千匹、人千人の賑わしさなり」

『遠野物語』の誕生、地域の自負を育んだ明治期を中心とする文化

### 第4 関連文化財群 「平地人を戦慄せしめよ」

『遠野物語』の民俗的世界の継承と新たな文化が融合した近現代の文化

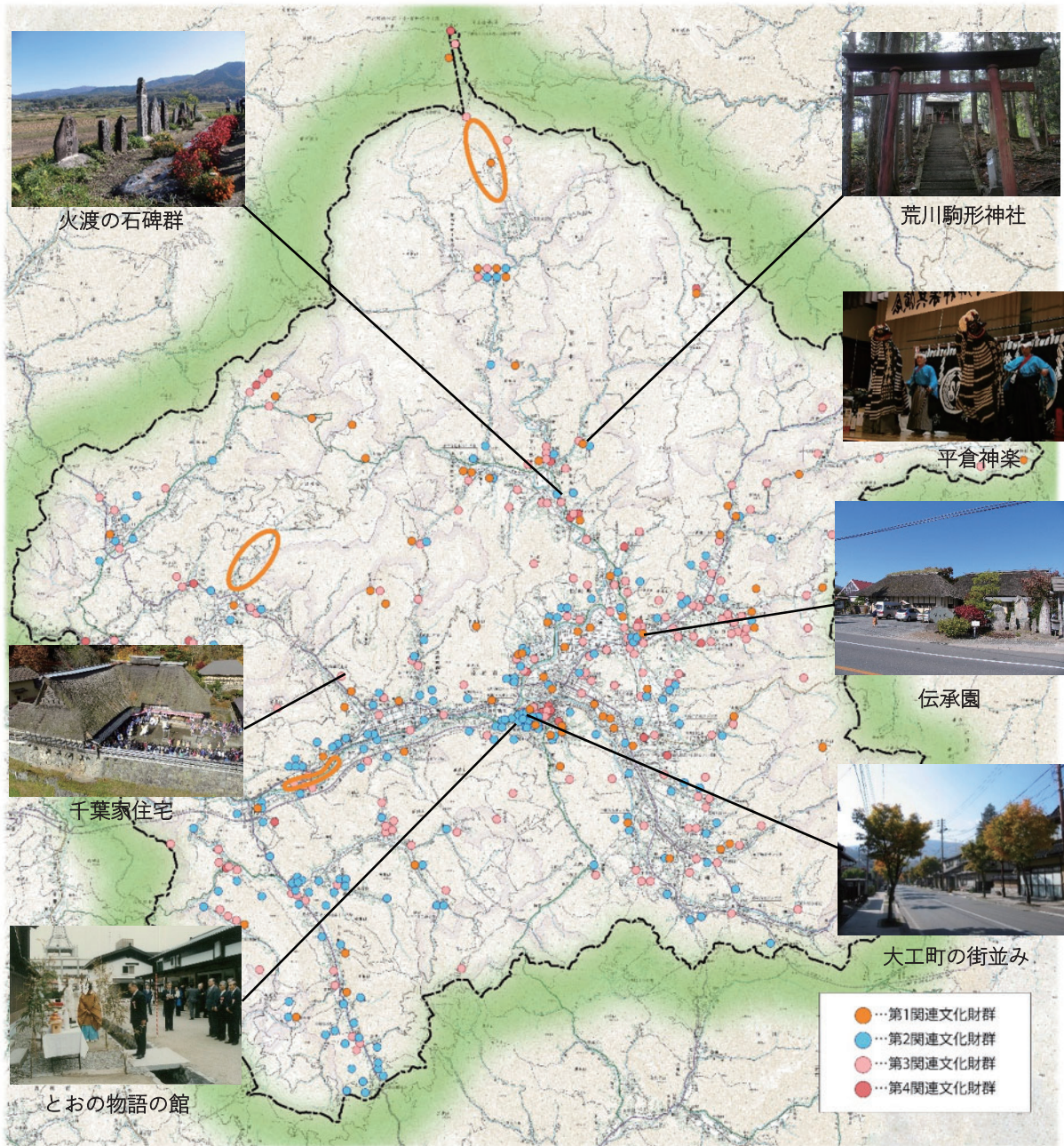


図4-1 関連文化財群構成要素分布状況 第1群～第4群

## (1) 第1関連文化財群 「大昔はすべて一円の湖水なり」

— 『遠野物語』の原点となる想像的世界を生み出した自然と原始古代文化—

## 《ストーリー》

『遠野物語』の序文には「遠野郷の地大昔はすべて一円の湖水なり 四方の山々の中に最も秀でたるを早池峰と云う」という伝説が記述されています。人々が暮らす以前、遠野は早池峰山を最高峰とする北上高地の自然がありました。それは水と緑豊かな美しくも厳しい世界です。やがて自然と向き合い、その恵みを受けて人々が暮らし始め、遠野盆地を囲む周囲の山々から流れでた猿ヶ石川などの川沿いに村々が成立しました。

村々は時代と共に律令制度に組み込まれ発達していきます。早池峯神社の始まりや伊豆権現の三山伝説など、『遠野物語』に描かれた遠野の起源にまつわる古い伝説の多くはこの時代に生まれ語り継がれていきます。それは『遠野物語』の原点と言える想像的世界を今に伝える歴史文化となっています。

## 「大昔はすべて一円の湖水なり」

## 主な文化的資産とストーリー

## 早池峰山及び薬師岳の高山帯森林植物群(国指定天然記念物)

早池峰山は、石上山、六角牛山と併せ、遠野三山と呼ばれている北上高地の最高峰です。貴重な植物群落が存在し、厳しい自然環境は『遠野物語』を生んだ背景です。『遠野物語』でも「四方の山々の中に最も秀でたるを早池峰と云う」との記述があり、遠野三山女神伝説の舞台となった場所です。また、亡くなった人の魂が帰る場所ともいわれ、山岳信仰の原点といえる霊山でもあります。



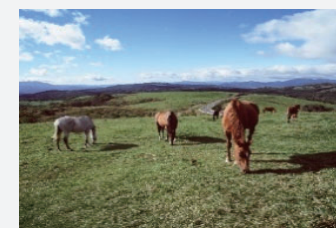
## 高清水山からの眺望(遠野盆地の景観)

高清水山は松崎町と綾織町との境に位置する展望地で、この山から望む、遠野盆地の田園風景と集落、大きく蛇行して流れる猿ヶ石川、秋の雲海に包まれたその景観は、『遠野物語』で語られた「大昔はすべて一円の湖水なりしに、其水猿ヶ石川となりて人界に流れ出でしより、自然に此の如き邑落をなせしなり」という湖水伝説を彷彿させます。



## 遠野荒川高原牧場(国選定重要文化的景観)

荒川高原牧場は、北上高地の準平原で天然芝が生育しています。宮古市旧小国村へ通じる古道があり、厳しい自然環境を利用した放牧が古くから行われ、馬産地遠野を支えた歴史があり、「オシラサマ」など、『遠野物語』のなかで語られた馬にまつわる伝説を産んだ原点ともいえる牧場です。





<p><b>金取遺跡(市指定史跡)</b></p> <p>金取遺跡は今から約9万年～5万年前、日本最古級と評される旧石器時代の遺跡です。木炭片や焼けた跡のある石が発見され、キャンプの跡と推定されます。また、使用されていたと考えられる大型打製石斧、円盤型石核、スクレイパーなどの石器類が出土しています。人の営みと自然が係わった原点と言える証跡です。</p>	
<p><b>田屋の大杉(市指定文化財天然記念物)</b></p> <p>熊野神社の境内にあり、樹齢約1500年と推定されている杉の大樹です。この老杉には、昔この木を切ろうとしたところ、木から出血したので恐ろしくなり、切ることを止めたとか、西南にあたる幹のこぶに、金のお地藏さんが入っているなどの伝説をもっています。この様な『遠野物語』に通じる伝説は、天然記念物の多くに残されています。</p>	

表4-1 第1関連文化財群 「大昔はすべて一円の湖水なり」 文化的資産構成要素

番号	種別	指定区分	名称	所在地
1	天然記念物	国指定	早池峰山及び薬師岳の高山帯・森林植物群	遠野市・花巻市 川井市
2	史跡	国指定	綾織新田遺跡(縄文時代前期)	綾織町
3	文化的景観	国指定	遠野 荒川高原牧場 土淵山口集落	附馬牛町土淵町
4	天然記念物	県指定	早池峯神社の夫婦イチイ	附馬牛町
5	天然記念物	県指定	遠野のモリオカシダレ	松崎町
6	天然記念物	県指定	青笹のイブキ	青笹町
7	考古資料	市指定	金取遺跡出土品(石斧等62点)	東館町
8	天然記念物	市指定	善明寺のイチイ	大工町
9	天然記念物	市指定	大日山の桜	遠野町
10	天然記念物	市指定	日枝神社のアカマツ	遠野町
11	天然記念物	市指定	会下家の十王堂のカツラ	遠野町
12	天然記念物	市指定	田屋の大杉	綾織町
13	天然記念物	市指定	続石	綾織町
14	天然記念物	市指定	御止の藤	綾織町
15	天然記念物	市指定	宮の目の畑蒔桜	綾織町
16	天然記念物	市指定	イヌシデ	小友町
17	天然記念物	市指定	イヌザクラ	小友町
18	天然記念物	市指定	サワグルミ	小友町
19	天然記念物	市指定	千本カツラ	小友町

番号	種別	指定区分	名称	所在地
20	天然記念物	市指定	大洞二股湿原コバイケイソウ等の植物群落及びモリアオガエル繁殖地	附馬牛町
21	天然記念物	市指定	上禰宣のウッコ	附馬牛町
22	天然記念物	市指定	元駒形神社の杉	附馬牛町
23	天然記念物	市指定	サワラ	附馬牛町
24	天然記念物	市指定	附馬牛小学校の松並木	附馬牛町
25	天然記念物	市指定	常福院のサワラ(右側)	附馬牛町
26	天然記念物	市指定	常福院のサワラ(左側)	附馬牛町
27	天然記念物	市指定	早池峯神社のサワラ	附馬牛町
28	天然記念物	市指定	新山神社のヒバ(サワラ)	附馬牛町
29	天然記念物	市指定	ナラガシワ	松崎町
30	天然記念物	市指定	又五郎ナシ	松崎町
31	天然記念物	市指定	コナラ	松崎町
32	天然記念物	市指定	白岩のエドヒガン・イヌザクラ寄木	松崎町
33	天然記念物	市指定	横田城跡のヒガンザクラ	松崎町
34	天然記念物	市指定	横田城跡のヤマザクラ	松崎町
35	天然記念物	市指定	アカマツ	土淵町
36	天然記念物	市指定	爪喰稲荷境内の杉	土淵町
37	天然記念物	市指定	天王様のモミの木	土淵町
38	天然記念物	市指定	土淵町大洞のヤマザクラ	土淵町
39	天然記念物	市指定	大木稲荷のトチノキ	土淵町
40	天然記念物	市指定	晴山のイチョウ	青笹町
41	天然記念物	市指定	クワ	青笹町
42	天然記念物	市指定	シダレザクラ	青笹町
43	天然記念物	市指定	下関のエゾエノキ	青笹町
44	天然記念物	市指定	カヤ	上郷町
45	天然記念物	市指定	室の木稲荷さんのウッコ	上郷町
46	天然記念物	市指定	曹源寺のアセビ	上郷町
47	天然記念物	市指定	仙人峠ニホンウサギコウモリ繁殖洞穴群	上郷町
48	天然記念物	市指定	長泉寺かやの木	宮守町
49	天然記念物	市指定	エドヒガンザクラ(下鱒沢)	宮守町
50	天然記念物	市指定	エドヒガンザクラ(上宮守)	宮守町
51	天然記念物	市指定	大森の大谷地	宮守町
52	史跡	市指定	金取遺跡(旧石器時代)	宮守町



番号	種別	指定区分	名称	所在地
53	景観	遠野遺産	石上不動岩幻の滝	綾織町
54	景観	遠野遺産	藤沢の滝と應瀧神社	小友町
55	景観	遠野遺産	又一の滝とお不動様	附馬牛町
56	景観	遠野遺産	重湍溪	附馬牛町
57	景観	遠野遺産	早池峰古の登山道	附馬牛町
58	景観	遠野遺産	舌出し岩(龍伝説)	土淵町
59	景観	遠野遺産	琴畑溪流と白滝不動尊	土淵町
60	景観	遠野遺産	貞任水芭蕉群生地	土淵町
61	天然記念物	遠野遺産	稲荷穴	宮守町
62	景観	遠野遺産	寺沢渓谷	宮守町
63	史跡	未指定	栃洞遺跡(縄文時代後期～晩期)	遠野町
64	景観	未指定	石上山	綾織町
65	天然記念物	未指定	大洞カルスト	附馬牛町
66	史跡	未指定	張山遺跡	附馬牛町
67	景観	未指定	高清水山(眺望)	松崎町
68	史跡	未指定	蓬田遺跡(奈良時代)	松崎町
69	史跡	未指定	高瀬Ⅰ遺跡(奈良～平安時代)	松崎町
70	史跡	未指定	高瀬Ⅱ遺跡(奈良～平安時代)	松崎町
71	史跡	未指定	晴山遺跡(古墳時代～奈良時代前期)	松崎町
72	天然記念物	未指定	上琴畑湿原	土淵町
73	史跡	未指定	権現前遺跡(縄文時代早期)	土淵町
74	景観	未指定	六角牛山	青笹町
75	史跡	未指定	平倉観音遺跡(縄文時代～弥生時代)	上郷町
76	景観	未指定	猿ヶ石川	市内

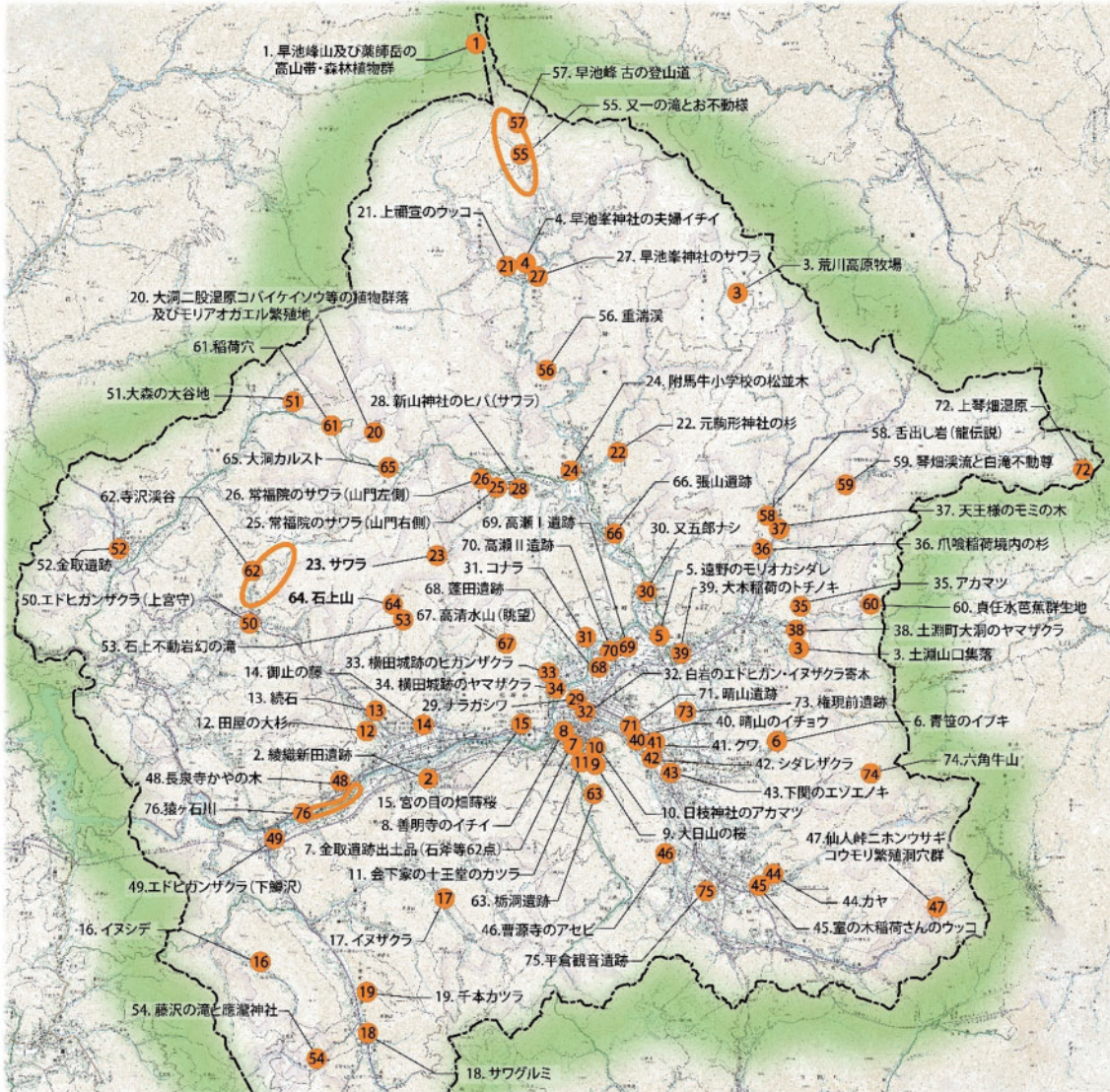


図4-2 第1関連文化財群「大昔はすべて一円の湖水なり」 文化的資産分布図

(2) 第2関連文化財群 「山奥には珍しき繁華の地なり」

— 『遠野物語』の胎動となる骨格社会を形成した中近世の文化—

《ストーリー》

古い伝説を伝える遠野は中世、阿曾沼氏が統治する新たな時代となります。各地に館を築いて家臣を配し、馬産を振興します。約400年間続いた統治は戦国時代の終わりと共に終焉を迎え、やがて八戸(現・青森県八戸市)から移封となった遠野南部氏に代わります。馬産振興は受け継がれ、駄賃付けなどの馬事文化や南部曲り家を生み、絵馬の奉納など馬に関する文化を残しました。

この間、遠野は度々の凶作にみまわれ飢饉で多くの人々が亡くなり、人々はその慰霊

と心のよりどころを求め多くの神社、社が勧請され、『遠野物語』の中にも「路傍に石塔の多きこと諸国其比を知らず」とあるように多くの石碑が建立されました。

また、遠野南部氏の居城となった鍋倉城下には、現在の街並みの骨格となる城下町が整備され、その証となる通りの名前や、南部家ゆかりの文化財も多く残されています。城下町は、内陸と沿岸を結ぶ交通の要衝として発達したことにより色々な地域の物語が伝わりました。それは語り部によって代々語り継がれ、後の『遠野物語』の誕生へとつながっていきます。

この様な篤い信仰と城下町の繁栄は『遠野物語』の序文に書かれた「俗に七内八崎ありと称す 南部家一万石の城下なり 城を横田城とも云う」や「山奥には珍しき繁華の地なり」という言葉に象徴され、今に伝承される遠野の骨格を形成した歴史文化となっています。

### 「山奥には珍しき繁華の地なり」

主な文化的資産とストーリー

#### 東禅寺跡(市指定史跡)

東禅寺跡は、総門、三門、仏殿、方丈、法堂、塔頭などの一大伽藍を有する中世寺院跡です。その創建については、13世紀頃の密教寺院として草創され、その後、臨済宗に改宗したとする説と、建武年間(1334～1345)に無尽妙什大師により創建されたとする説があります。200人を超す僧侶が修行していたと伝えられ、遠野における仏教の浸透と役割の大きさを窺わせる証拠で、『遠野物語』の中で語られる信仰の重要な背景です。



#### 横田城跡と中世城館(未指定)

横田城は、中世遠野を統治した阿曾沼氏の居城です。現況から自然の沢を利用した堀や土橋、空堀、平場などが確認されますが、発掘調査を行っていないため詳しい縄張りなどは不明です。また、阿曾沼氏は鱒沢館や火渡し館など、各地に館を築き重臣を配置して統治しました。各地に築かれた館は、南部氏の時代に破却され、館主が不明なものが多く存在しています。



#### 荒川駒形神社(国選定重要文化的景観)

荒川駒形神社は、無盡和尚の祈願に応じ早池峰山の神霊が白馬に乗って現れ、その際に写した、片耳の欠けた絵馬を東方に祀ったことを始まりとする説と、阿曾沼氏の時代に蒼前駒形明神を祀ったことを始まりとする二つの説があります。遠方から多くの参拝者が訪れた事を証する多くの鳥居や絵馬が奉納されており、馬産地を象徴する神社の一つです。



**早池峯神社(市指定文化財建造物)**

早池峯神社は、大同元年来内村の獵師が早池峰山の山頂に一宇を建立した事に始まるとの伝説があり、その後、慈覚大師により一寺を建立し、早池峯山持福音妙泉寺と号したと言われています。遠野三山の神霊を祀り、山岳信仰の場としても崇敬を集めました。信仰圏は仙台領まで及んだと言われ、明治維新の廃仏毀釈により早池峯神社となりました。遠野の信仰の原点と言える神社の佇まいは『遠野物語』の深層を想起させます。

**遠野七観音(県指定、市指定、遠野遺産)**

七観音は、嘉祥の頃(850年頃)慈覚大師円仁が一本の木から七体の観音菩薩像を刻み、遠野郷の七か所に祀ったとの伝説があります。第1番札所「山谷観音」、第2番札所「松崎観音」、第3番札所「平倉観音」、第4番札所「鞍迫観音」、第5番札所「宮守観音」、第6番札所「山崎観音」、第7番札所「笹谷観音」の七か所で、江戸時代、七観音巡りとして盛んに信仰されました。

**遠野の社(遠野遺産)**

「荒神さま」に代表されるように、遠野には多種多数の神社や小さな社が存在しています。上郷の熊野神社には、「溶けなかつたご本尊」の物語(『遠野物語拾遺』129話)があり、その他にも一生に一度だけ願いを叶える伝説、女神の力で戦に勝った伝説、神様が火事を消した伝説など、様々な伝説が残る社があります。伝説をまとい、田園風景の中に佇む社は遠野を象徴する景観となっています。

**見ざる・聞かざる・言わざるの石碑群(遠野遺産)**

『遠野物語』の序文にもあるように、市内には無数の石碑が残されており、見ざる・聞かざる・言わざるの石碑はそのひとつです。庚申信仰が長く続いた記念に建立されたもので、悪事を天帝に知らせないように、目と耳、口をふさいだ三匹の猿が刻まれています。祈願した人々の苦難を乗り越えてきた歴史を今に伝えています。

**遠野南部氏関連資料(未指定)**

江戸時代、遠野を統治した遠野南部氏の徳政を偲ぶ市民は今も少なくありません。弥六郎入部の図ほか、甲冑や九曜紋、向鶴紋で装飾された調度品、文献など、遠野南部氏に関連する資料です。後に『遠野物語』として結実する様々な物語が生まれた時代を築いた統治者の貴重な歴史資料です。



表4-2 第2 関連文化財群 「山奥には珍しき繁華の地なり」 文化的資産構成要素

番号	種別	指定区分	名称	所在地
1	工芸品	県指定	太刀(銘永和二年八月 日 寶壽)	東館町
2	工芸品	県指定	金銅装双塔文 笈	綾織町
3	建造物	県指定	山谷観音堂	小友町
4	絵画	県指定	釈迦涅槃図	小友町
5	絵画	県指定	十三仏	小友町
6	建造物	県指定	鞍迫観音堂	宮守町
7	歴史資料	県指定	鞍迫観音堂算額	宮守町
8	工芸品	市指定	信成堂の版木	東館町
9	工芸品	市指定	鉄板黒漆塗横矧桶側二枚胴紺糸胸取具足	東館町
10	歴史資料	市指定	南部利直黒印状	東館町
11	有形民俗	市指定	鑄掛用具	東館町
12	彫刻	市指定	大日如来坐像	中央通り
13	彫刻	市指定	不動明王立像	中央通り
14	建造物	市指定	瑞応院本堂	大工町
15	建造物	市指定	五輪塔	大工町
16	彫刻	市指定	阿弥陀如来坐像	大工町
17	彫刻	市指定	阿弥陀如来坐像	大工町
18	工芸品	市指定	梵鐘	大工町
19	史跡	市指定	久子翠峰の墓	大工町
20	彫刻	市指定	愛宕延命菩薩像	新町
21	彫刻	市指定	阿弥陀如来立像	新町
22	書籍	市指定	日蓮真筆曼陀羅	新町
23	建造物	市指定	登坂家住宅	六日町
24	名勝	市指定	登坂氏庭園	六日町
25	史跡	市指定	下同心丁榭形	下組町
26	彫刻	市指定	十王仏像	遠野町
27	彫刻	市指定	葬頭河婆像	遠野町
28	工芸品	市指定	鱒口	遠野町
29	彫刻	市指定	阿弥陀如来立像	綾織町
30	工芸品	市指定	銅造菩薩三尊坐像懸仏	綾織町
31	工芸品	市指定	鉄造菩薩坐像懸仏	綾織町
32	工芸品	市指定	金銅聖観音坐像懸仏	綾織町
33	絵画	市指定	仏画「参りの仏」	小友町

番号	種別	指定区分	名称	所在地
34	彫刻	市指定	阿弥陀如来像	小友町
35	彫刻	市指定	観世音菩薩像	小友町
36	彫刻	市指定	勢至菩薩像	小友町
37	工芸品	市指定	山谷観音経筒	小友町
38	工芸品	市指定	鰐口	小友町
39	史跡	市指定	新谷番所跡	小友町
40	建造物	市指定	早池峯神社神門	附馬牛町
41	建造物	市指定	早池峯神社(本殿・拜殿)	附馬牛町
42	建造物	市指定	早池峯神社の中門	附馬牛町
43	工芸品	市指定	太刀	附馬牛町
44	有形民俗	市指定	猿曳駒版木	附馬牛町
45	有形民俗	市指定	早池峰駒形の版木	附馬牛町
46	史跡	市指定	東禅寺跡	附馬牛町
47	絵画	市指定	光明本	松崎町
48	史跡	市指定	松崎観音の石碑	松崎町
49	史跡	市指定	遠野八幡宮馬場	松崎町
50	彫刻	市指定	道元禅師像	土淵町
51	彫刻	市指定	仁王尊像	土淵町
52	建造物	市指定	平倉観音堂	上郷町
53	彫刻	市指定	伊豆神社御神体獅子頭	上郷町
54	典籍	市指定	大般若経典	上郷町
55	史跡	市指定	三田峠一里塚	上郷町
56	絵画	市指定	鞍迫観音堂絵馬(221枚)	宮守町
57	彫刻	市指定	鞍迫観音(木造十一面観音像)	宮守町
58	有形民俗	市指定	十月仏	宮守町
59	史跡	市指定	七里塚	宮守町
60	史跡	市指定	一里塚	宮守町
61	建造物	遠野遺産	欠ノ上稲荷神社	東穀町
62	複合	遠野遺産	宇迦神社拜殿及び旧跡一里塚石碑	中央通り
63	建造物	遠野遺産	伊勢両宮神社と松尾神社	六日町
64	建造物	遠野遺産	卯子酉神社	下組町
65	複合	遠野遺産	下同心丁枳形と法華題目の碑	下組町
66	複合	遠野遺産	加茂神社と御神木の桜	早瀬町
67	建造物	遠野遺産	程洞稲荷神社	遠野町

番号	種別	指定区分	名称	所在地
68	複合	遠野遺産	多賀神社と御神木	遠野町
69	史跡	遠野遺産	鍋倉城	遠野町
70	天然記念物	遠野遺産	長松寺のしだれ栗	綾織町
71	建造物	遠野遺産	石上神社	綾織町
72	建造物	遠野遺産	綾織駒形神社	綾織町
73	建造物	遠野遺産	綾織愛宕神社	綾織町
74	建造物	遠野遺産	綾織三社神社	綾織町
75	建造物	遠野遺産	新里の愛宕神社	綾織町
76	建造物	遠野遺産	長岡大日神社	綾織町
77	複合	遠野遺産	羽黒堂と羽黒岩	綾織町
78	複合	遠野遺産	谷地館の址と八幡宮	綾織町
79	複合	遠野遺産	上中宿の熊野神社と石碑群	綾織町
80	史跡	遠野遺産	西風館	綾織町
81	石碑	遠野遺産	乳神様(金勢様)	綾織町
82	景観	遠野遺産	小黒沢の伊豆権現とその周辺	小友町
83	建造物	遠野遺産	能傳房神社	小友町
84	建造物	遠野遺産	角羅神社	小友町
85	建造物	遠野遺産	高坪の宇迦神社	小友町
86	複合	遠野遺産	不動巖と巖龍神社	小友町
87	複合	遠野遺産	篠神社と桜	小友町
88	石碑	遠野遺産	鷹鳥屋の西国順礼塔	小友町
89	石碑	遠野遺産	及川館一族の墓	小友町
90	石碑	遠野遺産	小友村道路元標と追分の碑	小友町
91	石碑	遠野遺産	牛頭天王の石碑	小友町
92	建造物	遠野遺産	笹谷観音堂	附馬牛町
93	建造物	遠野遺産	荒川駒形神社	附馬牛町
94	建造物	遠野遺産	神遣神社	附馬牛町
95	複合	遠野遺産	見ざる・言わざる・聞かざるの石碑群と早池 峰古道	附馬牛町
96	複合	遠野遺産	新山神社と御神木のヒバ	附馬牛町
97	石碑	遠野遺産	火渡の石碑群	附馬牛町
98	建造物	遠野遺産	松崎観音堂	松崎町
99	建造物	遠野遺産	諏訪神社	松崎町
100	複合	遠野遺産	元八幡宮境内地及び夫婦杉桜	松崎町

番号	種別	指定区分	名称	所在地
101	石碑	遠野遺産	妻の神の石碑群	松崎町
102	石碑	遠野遺産	阿曾沼公歴代の碑	松崎町
103	石碑	遠野遺産	飢饉の碑	松崎町
104	石碑	遠野遺産	清心尼公の碑	松崎町
105	複合	遠野遺産	横田城跡及び彼岸桜と山桜	松崎町
106	建造物	遠野遺産	栃内観音堂	土淵町
107	建造物	遠野遺産	飯豊の熊野神社と羽黒神社	土淵町
108	建造物	遠野遺産	山崎金勢様	土淵町
109	建造物	遠野遺産	角城館麓の神社群	土淵町
110	建造物	遠野遺産	倭文神社	土淵町
111	建造物	遠野遺産	米通の山の神	土淵町
112	建造物	遠野遺産	土淵和野の愛宕様	土淵町
113	複合	遠野遺産	天王様とモミの木	土淵町
114	天然記念物	遠野遺産	喜清院のシダレ桜	青笹町
115	建造物	遠野遺産	中妻観音堂	青笹町
116	建造物	遠野遺産	辨財天様	青笹町
117	建造物	遠野遺産	荒神社	青笹町
118	建造物	遠野遺産	青笹八幡宮	青笹町
119	建造物	遠野遺産	月山深山宮	青笹町
120	建造物	遠野遺産	八坂神社	青笹町
121	建造物	遠野遺産	安戸の正一位稻荷神社	青笹町
122	建造物	遠野遺産	六角牛神社	青笹町
123	複合	遠野遺産	沢田駒形神社と古峯山石碑	青笹町
124	建造物	遠野遺産	伊豆神社	上郷町
125	建造物	遠野遺産	日出神社	上郷町
126	建造物	遠野遺産	赤羽根稻荷神社	上郷町
127	建造物	遠野遺産	平野原の神明神社	上郷町
128	建造物	遠野遺産	繫稻荷神社	上郷町
129	建造物	遠野遺産	森ノ下の伊勢両宮神社	上郷町
130	建造物	遠野遺産	熊野神社・六角牛大権現	上郷町
131	石碑	遠野遺産	近江弥右衛門の墓	上郷町
132	天然記念物	遠野遺産	中斉の夫婦カツラ	宮守町
133	建造物	遠野遺産	宮守観音堂	宮守町
134	建造物	遠野遺産	達曾部八幡神社	宮守町



番号	種別	指定区分	名称	所在地
135	建造物	遠野遺産	柏木平の砥森神社	宮守町
136	建造物	遠野遺産	正一位鋳物稲荷神社	宮守町
137	建造物	遠野遺産	鱒沢四社・白石神社(兜明神)	宮守町
138	建造物	遠野遺産	鱒沢四社・愛宕神社	宮守町
139	複合	遠野遺産	鱒沢四社・高館八幡神社とエドヒガンザクラ	宮守町
140	複合	遠野遺産	砥森神社と本宮五輪塔	宮守町
141	複合	遠野遺産	米田の熊野神社と御神木	宮守町
142	石碑	遠野遺産	呼ばれ石	宮守町
143	複合	未指定	遠野南部氏関連資料	東館町
144	歴史資料	未指定	三閉伊一揆関連資料	東館町
145	歴史資料	未指定	信仰関係資料	東館町
146	工芸品	未指定	附馬牛人形	東館町
147	史跡	未指定	五百羅漢	遠野町
148	史跡	未指定	西門館	綾織町
149	史跡	未指定	谷地館	綾織町
150	史跡	未指定	上野館	綾織町
151	史跡	未指定	金山跡	小友町
152	史跡	未指定	南館	小友町
153	史跡	未指定	奥友館	小友町
154	史跡	未指定	駒木館	小友町
155	史跡	未指定	平清水館	小友町
156	史跡	未指定	新谷館	小友町
157	史跡	未指定	火渡館	附馬牛町
158	史跡	未指定	松崎館	松崎町
159	史跡	未指定	横田城	松崎町
160	史跡	未指定	光興寺館	松崎町
161	史跡	未指定	駒木館	松崎町
162	建造物	未指定	常堅寺山門	土淵町
163	史跡	未指定	角城館	土淵町
164	史跡	未指定	本宿館	土淵町
165	史跡	未指定	山口館	土淵町
166	史跡	未指定	鼻館	青笹町
167	史跡	未指定	臼館	青笹町
168	史跡	未指定	中沢館	青笹町

番号	種別	指定区分	名称	所在地
169	史跡	未指定	板沢館	上郷町
170	史跡	未指定	篠館	上郷町
171	史跡	未指定	鱒沢館	宮守町
172	史跡	未指定	高館	宮守町
173	史跡	未指定	神成館	宮守町
174	史跡	未指定	熊ノ洞館	宮守町
175	史跡	未指定	達曾部館	宮守町
176	建造物	未指定	蒼前神社	市内
177	史跡	未指定	飢饉の碑	市内

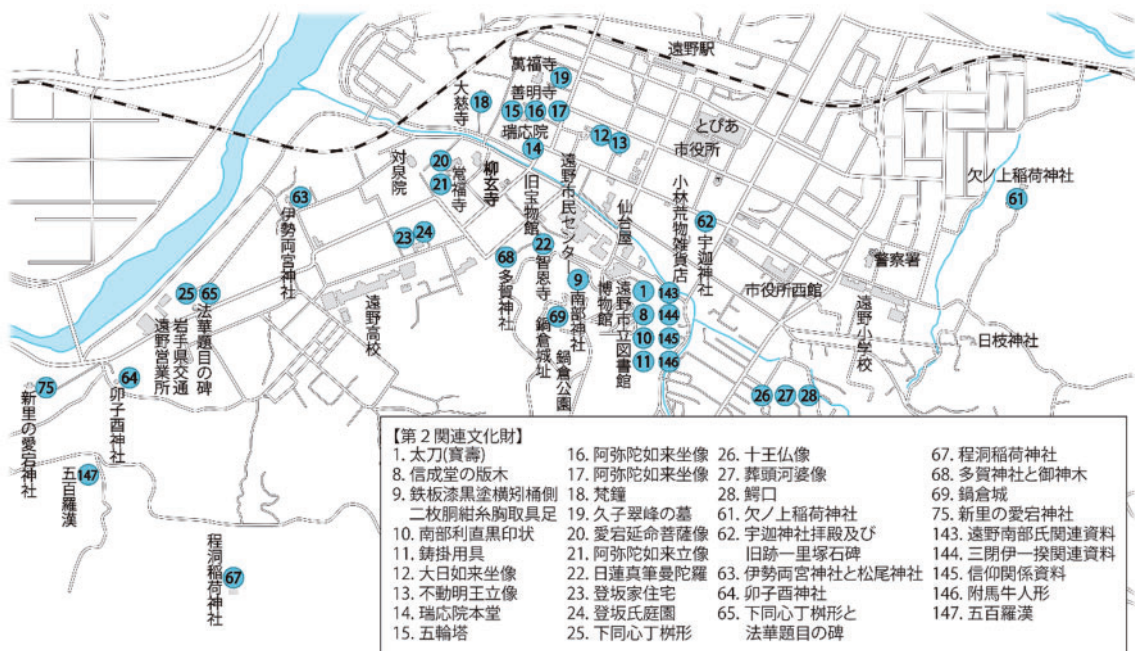


図4-3 第2関連文化財群「山奥には珍しき繁華の地なり」 市街地の文化的資産分布図

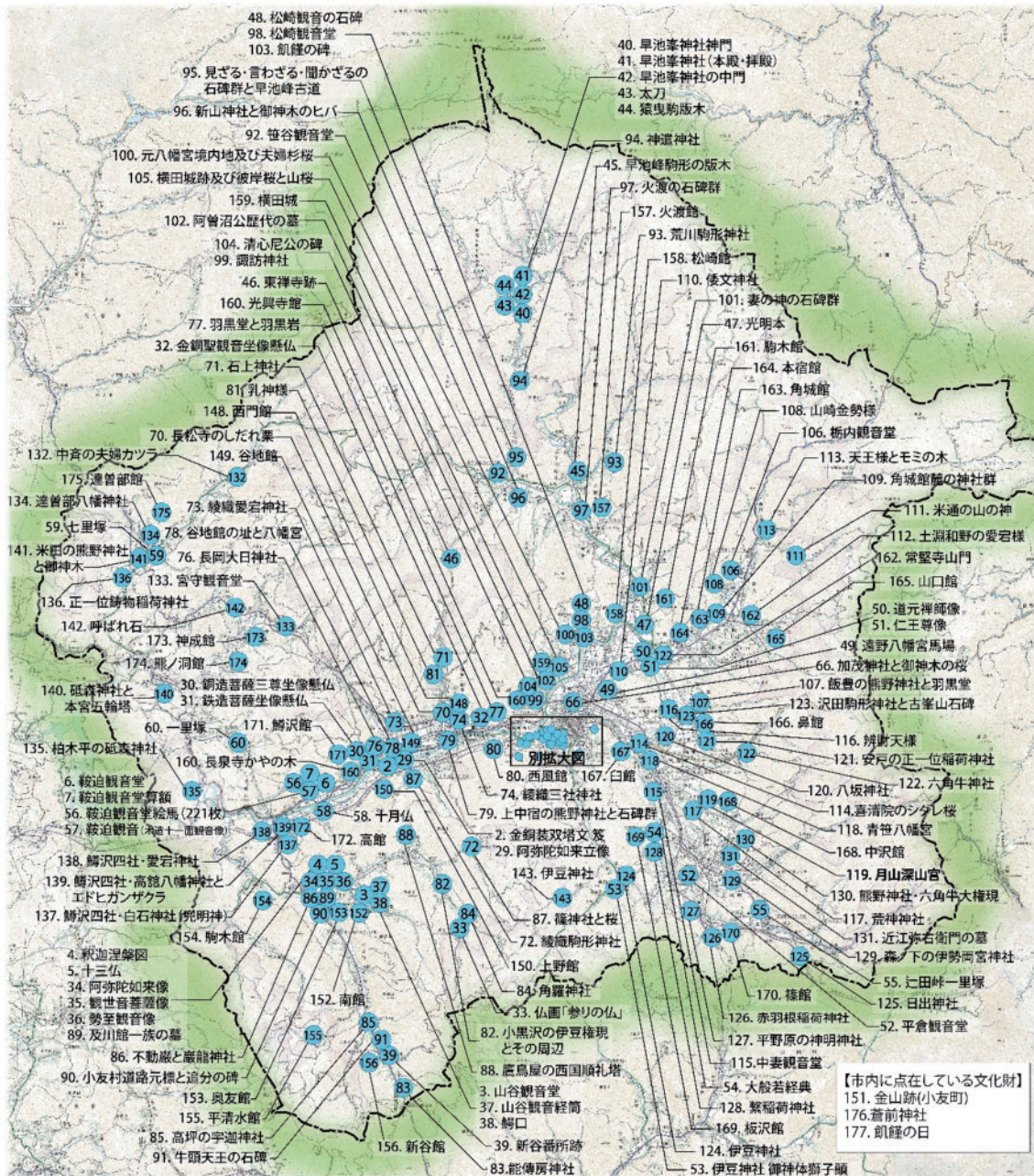


図4-4 第2関連文化財群「山奥には珍しき繁華の地なり」 文化的資産分布図

(3) 第3関連文化財群 「馬千匹、人千人の賑わしさなり」

— 『遠野物語』の誕生、地域の自負を育んだ明治期を中心とする文化—

《ストーリー》

『遠野物語』が成立した明治時代、遠野には発電所が建設され、大正時代には花巻市との間に軽便鉄道も開通しました。近代化の中で遠野の街は「七つの溪谷各七十里の奥より売買の貨物を集め、其市の日は馬千匹、人千人の賑わしさなりき」といわれるほど



**土淵山口集落(国選定文化的景観)**

山口集落は、内陸と沿岸部を結ぶ二つの街道沿いにあり、遠野から沿岸に向かう最後の集落、沿岸から遠野に入る最初の集落です。街道は多くの人が行き交い、物資と共に多くの物語がもたらされ、『遠野物語』の中心舞台となった集落です。今もデンデラ野やダンノハナなど、『遠野物語』の舞台となった場所や、佐々木喜善の生家が残っています。

**大出早池峰神楽(市指定)**

信仰と密接な関りを有する神楽。遠野には山伏系神楽と神人系神楽が伝承されており、神社の例祭ほか、イベント等でも披露されています。大出早池峰神楽はしなやかな踊りを特徴とする神人系神楽で、早池峯を開山した始閣藤蔵の子孫が伝えてきたと言われ、長い歴史を有する神楽です。

**青笹しし踊り(県指定、国記録選択文化財)**

幕踊り系と呼ばれる遠野のしし踊りは、遠野市を代表する民俗芸能です。青笹しし踊りは慶長初年(1596)、遠野郷領主阿曾沼時代に伝来した鹿踊りに、農民の豊年踊り、神楽の山神舞をあわせ、構成されたと言われています。他の地域から伝わった文化を、遠野の文化と融合し、遠野独自の文化として育んだ代表的な踊りです。

**遠野南部ばやし(未指定、遠野遺産)**

遠野南部ばやしは、遠野南部直義が寛文初年(1661)に遠野郷八幡宮を遷宮した際、京都の「祇園囃」を模し、遠野の特色を取り入れ考案された、町方を代表する民俗芸能です。華やかに着飾った踊り手の優雅な踊りとお囃子は、遠野独自の特色ある踊りとして育まれました。

**遠野南部流鏝馬(市指定)**

遠野南部流鏝馬は、八戸南部氏4代師行が建武2年中(1334～1335)、三戸の櫛引八幡宮に奉納した事が起源とされます。人馬一体となり、疾走する馬上から弓で的を射るこの神事は、鎌倉時代に武士の鍛錬として始まりました。遠野郷八幡宮の例祭に毎年奉納されるだけでなく、移封となった現在も櫛引八幡宮に奉納されています。





<p><b>カッパ淵(未指定、遠野遺産)</b></p> <p>『遠野物語』にも登場するカッパ伝説は市内各地に残されています。その代表的な所が土淵常堅寺のカッパ淵です。川岸には乳神様が祀られており、カッパと赤子の関係を連想させます。また、常堅寺の境内にはカッパ狛犬があり、火事の際に火消しの手伝いをしたという伝説も残されています。</p>	
<p><b>語り部(未指定)</b></p> <p>曲り家の囲炉裏で語り継がれた昔話は、語り部と言われる伝承文化を育み、カッパやオシラサマ、ザシキワラシの話など、遠野に伝わる昔話を多くの人に語り、全国的に知られる様になりました。現在はその姿を変えつつあるものの、今も語り部によって様々な昔話が語られています。</p>	

表 4-3 3 関連文化財群 「馬千匹、人千人の賑わしさなり」 文化的資産構成要素

番号	種別	指定区分	名称	所在地
1	建造物	国指定	千葉家住宅	綾織町
2	建造物	国指定	旧菊池家住宅	土淵町
3	建造物	国選定	佐々木家住宅(佐々木喜善生家)	土淵町
4	建造物	国選定	山口の水車小屋	土淵町
5	史跡	国選定	孫左衛門屋敷跡	土淵町
6	史跡	国選定	デンデラ野	土淵町
7	史跡	国選定	ダンノハナ	土淵町
8	史跡	国選定	山口の河童淵	土淵町
9	建造物	国登録	旧菊池喜右エ門家住宅(こびるの家)	附馬牛町
10	建造物	国登録	旧菊池サイ家住宅(弥十郎どん)	附馬牛町
11	建造物	国登録	旧鈴木家住宅(肝煎りの家)	附馬牛町
12	建造物	国登録	旧菊池家住宅(大野どん)	附馬牛町
13	建造物	国登録	旧佐々木家住宅主屋(大工どん)	附馬牛町
14	建造物	国登録	旧川前家住宅主屋(川前別家)	附馬牛町
15	無形民俗	県指定	長野獅子踊り	小友町
16	無形民俗	県指定	早池峰しし踊り(東禅寺しし踊り) 早池峰しし踊り(上柳しし踊り) 早池峰しし踊り(張山しし踊り) 青笹しし踊り	附馬牛町 青笹町

番号	種別	指定区分	名称	所在地
17	無形民俗	県指定	駒木鹿子踊り	松崎町
18	無形民俗	県指定	板澤しし踊り	上郷町
19	歴史資料	市指定	『遠野物語』原稿及び関連資料	東館町
20	歴史資料	市指定	『遠野物語』初版本第1号	東館町
21	無形民俗	市指定	遠野南部流鎗馬	東館町
22	無形民俗	市指定	綾織しし踊り	綾織町
23	無形民俗	市指定	小友町裸参り	小友町
24	無形民俗	市指定	氷口御祝	小友町
25	無形民俗	市指定	鷹鳥屋獅子踊り	小友町
26	無形民俗	市指定	山谷獅子踊り	小友町
27	有形民俗	市指定	オシラサマ	小友町
28	無形民俗	市指定	大出早池峰神楽	附馬牛町
29	無形民俗	市指定	土淵しし踊り	土淵町
30	建造物	市指定	工藤家住宅(サスドン)	青笹町
31	有形民俗	市指定	蚕祭文	青笹町
32	建造物	市指定	佐々木家住宅(与五兵衛)	上郷町
33	無形民俗	市指定	細越獅子踊り	上郷町
34	無形民俗	市指定	佐比内しし踊り	上郷町
35	無形民俗	市指定	鱒沢神楽	宮守町
36	無形民俗	市指定	行山流鹿踊	宮守町
37	無形民俗	遠野遺産	上組町南部ばやし	上組町
38	無形民俗	遠野遺産	穀町南部ばやし	東穀町
39	無形民俗	遠野遺産	仲町南部ばやし	中央通り
40	無形民俗	遠野遺産	一日市南部ばやし	中央通り
41	無形民俗	遠野遺産	一日市のお雛見	中央通り
42	無形民俗	遠野遺産	遠野太神楽	大工町
43	無形民俗	遠野遺産	上綾織田植踊	綾織町
44	無形民俗	遠野遺産	石上神楽	綾織町
45	石碑	遠野遺産	外山開墾祈念碑と及川源次郎恒次の墓	小友町
46	石碑	遠野遺産	獅子一吼百獣脳烈の碑と獅子踊供養塔	小友町
47	石碑	遠野遺産	小友の水路供養塔	小友町
48	複合	遠野遺産	八坂神社と馬子繋ぎ	小友町
49	無形民俗	遠野遺産	新精霊	小友町
50	建造物	遠野遺産	菅原神社	附馬牛町

番号	種別	指定区分	名称	所在地
51	景観	遠野遺産	太郎淵	松崎町
52	建造物	遠野遺産	村兵衛稲荷神社(金ヶ澤稲荷神社)	松崎町
53	複合	遠野遺産	母也明神と巫女塚	松崎町
54	複合	遠野遺産	駒木鹿子踊りと角助の墓	松崎町
55	無形民俗	遠野遺産	八幡神楽	松崎町
56	景観	遠野遺産	カッパ淵～蓮池川水域～	土淵町
57	景観	遠野遺産	伝承園とその周辺	土淵町
58	建造物	遠野遺産	山口の薬師堂	土淵町
59	史跡	遠野遺産	ダンノハナと佐々木喜善墓地	土淵町
60	無形民俗	遠野遺産	山口さんさ踊	土淵町
61	無形民俗	遠野遺産	飯豊神楽	土淵町
62	無形民俗	遠野遺産	野崎神楽	土淵町
63	無形民俗	遠野遺産	平倉神楽	上郷町
64	無形民俗	遠野遺産	下郷さんさ踊	宮守町
65	無形民俗	遠野遺産	湧水神楽	宮守町
66	無形民俗	未指定	遠野まぬけ節	穀町
67	歴史資料	未指定	『遠野物語』関連資料	東館町
68	歴史資料	未指定	佐々木喜善関連資料	東館町
69	歴史資料	未指定	馬事関連資料	東館町
70	歴史資料	未指定	オシラサマ関連資料	東館町
71	歴史資料	未指定	やまだち関連資料	東館町
72	建造物	未指定	旧高善旅館	中央通り
73	建造物	未指定	旧伊藤家	中央通り
74	無形民俗	未指定	綾織南部ばやし	綾織町
75	無形民俗	未指定	上綾織太神楽	綾織町
76	無形民俗	未指定	小友南部ばやし	小友町
77	無形民俗	未指定	鷹鳥屋甚句踊	小友町
78	無形民俗	未指定	鷹鳥屋神楽	小友町
79	無形民俗	未指定	外山百姓踊	小友町
80	無形民俗	未指定	外山神楽	小友町
81	無形民俗	未指定	小倉神楽	松崎町
82	無形民俗	未指定	上早瀬南部ばやし	松崎町
83	無形民俗	未指定	横田田植踊	松崎町
84	無形民俗	未指定	似田貝神楽	土淵町



番号	種別	指定区分	名称	所在地
85	無形民俗	未指定	六角牛神楽	青笹町
86	無形民俗	未指定	暮坪田植踊	上郷町
87	無形民俗	未指定	暮坪虎舞	上郷町
88	無形民俗	未指定	平野原田植踊	上郷町
89	無形民俗	未指定	平野原さんさ踊	上郷町
90	無形民俗	未指定	森ノ下さんさ踊	上郷町
91	無形民俗	未指定	新町南部ばやし	宮守町
92	無形民俗	未指定	鱒沢田植踊	宮守町
93	無形民俗	未指定	米田大神楽	宮守町
94	無形民俗	未指定	館大神楽	宮守町
95	無形民俗	未指定	白石神楽	宮守町
96	無形民俗	未指定	白山神楽	宮守町
97	無形民俗	未指定	柏木平神楽	宮守町
98	無形民俗	未指定	迷岡神楽	宮守町
99	無形民俗	未指定	塚沢早池峰神楽	宮守町
100	無形民俗	未指定	上宮守神楽	宮守町
101	無形民俗	未指定	鹿込神楽	宮守町
102	無形民俗	未指定	湯屋神楽	宮守町
103	無形民俗	未指定	鱒沢獅子踊	宮守町
104	無形民俗	未指定	上宮守参差踊	宮守町
105	工芸品	未指定	絵馬	市内



図4-5 第3関連文化財群「馬千匹、人千人の賑わしさなり」市街地の文化的資産分布図

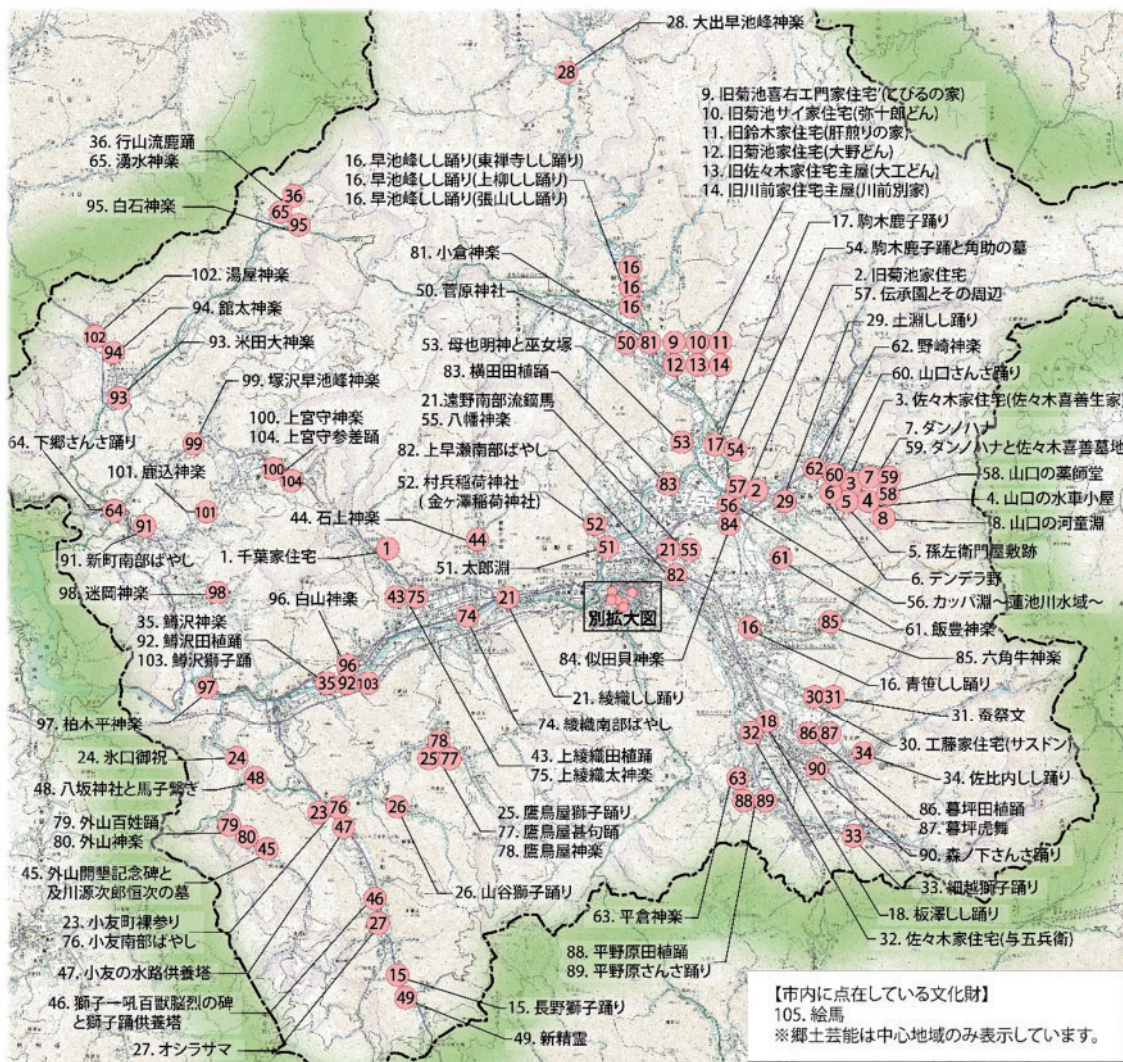


図4-6 3 関連文化財群「馬千匹、人千人の賑わしさなり」 文化的資産分布図

(4) 第4 関連文化財群 「平地人を戦慄せしめよ」

— 『遠野物語』の民俗的世界の継承と新たな文化が融合した近現代の文化—

《ストーリー》

明治期の近代化以降、軽便鉄道の開通や自動車の普及などの交通手段の発達により、遠野は交通の要衝としての役割も次第に移り変わり、産業構造も養蚕や葉タバコからワサビ、ホップ畑へと変化していきました。また、市街地を襲った二度の大火によりその様相も変化し、土蔵や店蔵が数多く建てられ、洋風建築なども見られるようになっていきます。そんな中でも「古くても価値あるものは光を失わない」という思いを持って文化財を保存し、他に先駆けて活用に取り組んできた姿が現在の遠野となっています。

## 「平地人を戦慄せしめよ」

主な文化的資産とストーリー

## 旧寶物館(国登録有形財)

旧寶物館は、県に先駆け、南部氏の宝物を展示する博物館施設として大正 14 年に建設されました。その後、図書館として利用され、現在は博物館の収蔵庫となっています。外観には幾何学的意匠が施されており、大正 12 年に起きた関東大震災の直後だったこともあって、耐震大火構造をもった、遠野市初の鉄筋コンクリート造で、遠野の近代化を象徴する建造物です。



## 小林荒物雑貨店(市指定文化財)

明治時代の大火もあり、街中では火災に強い建造物として、土蔵や店蔵が建設されました。小林荒物店は明治 23 年(1890)に建てられた、切妻平入り土蔵造り漆喰仕上げの建物で、黒漆喰の見事な仕上がりは、再現不能と評価されています。大火があった町歴史を物語る代表的な店蔵の建造物です。



## 仙台屋(国登録有形文化財)

仙台屋は、明治 15 年から 5 年の歳月をかけて建築された、木造、平入り 2 階建ての店舗兼住宅です。居間から箱階段を上った所に、2 階の座敷通路を兼ねた、手すり付きのせり出しがあり、吹き抜けとなる居間の空間をより立体的にするという町家の造りの特徴を残しています。正面の格子窓も当時の風情を伝え、遠野の町家建築を代表する建物です。



## 大峰鉱山とその周辺(一部市指定、遠野遺産)

大峰鉱山一帯は、天正年間(1573~1590)、近江弥右衛門の金山開発に始まり、万延元年(1860)頃には清岡真澄により洋式高炉が築かれ、鉄の生産が明治 7 年まで続きました。その後、銅鉱山として採鉱を開始し、昭和 55 年に閉山となりました。遠野の近代化に大きな役割を担った鉱山跡と言えます。



## ワサビ田(未指定)

宮守町達曽部地区では、「稻荷穴」に代表される豊富な清水を利用し、ワサビが栽培されています。湧水地区には多くのワサビ田が作られ、ワサビアイスやワサビ団子など、関連商品の開発も行われています。自然と共に生きて来た、遠野の人ならではの、生まれた産業文化と言えます。



<p><b>ホップ畑(未指定)</b></p> <p>ホップは、遠野の冷涼な気候を利用して、土淵、上郷地区を中心とした地域で栽培され、本州一の収穫量をほこる産地となっています。地ビールの開発販売や、新たな起業家の取組もあり、自然を活かした産業として新たな文化を創造しています。</p>	
<p><b>遠野物語ファンタジー(未指定)</b></p> <p>『遠野物語』を題材に市民手作りの舞台として毎年冬に公演され、平成31年には44回の公演数を数えます。伝え続けていく遠野の人々の気風を端的に示しており、市民にとって『遠野物語』が現在においても重要な意味を持っている事を裏付ける芸術文化です。</p>	
<p><b>大工町の街並み(未指定)</b></p> <p>大工町は、城下町の歴史的景観を大切にし、行政と、民間団体、住民が協力して整備した街並みです。色調やデザインは落ち着いた日本建築としての統一感があり、関係機関から高い評価を受けています。遠野の人々が求めるシンボリックな将来像の一つで、文化的景観を創出しています。</p>	
<p><b>遠野かやぶき保存協会(未指定)</b></p> <p>遠野かやぶき保存協会は、千葉家住宅や早池峰神社など、遠野に残る歴史的茅葺屋根を守るため、技術の伝承と茅の生産を手掛けることを目的として、平成29年に設立されました。造成した茅場は、ふるさと文化財の森として設定されており、遠野ならではの、新たな文化的産業を担っています。</p>	

表4-4 4 関連文化財群 「平地人を戦慄せしめよ」 文化的資産構成要素

番号	種別	指定区分	名称	所在地
1	建造物	国登録	仙台屋店舗兼主屋	中央通り
2	建造物	国登録	仙台屋旧穀倉	中央通り
3	建造物	国登録	仙台屋前の蔵	中央通り
4	建造物	国登録	仙台屋旧糶蔵	中央通り
5	建造物	国登録	仙台屋倉庫	中央通り
6	建造物	国登録	仙台屋便所	中央通り
7	建造物	国登録	旧宝物館	新町
8	景観	国選定	荒川高原牧場	附馬牛町

番号	種別	指定区分	名称	所在地
9	典籍	市指定	明治時代の教科書	東館町
10	建造物	市指定	小林荒物雑貨店	中央通り
11	史跡	市指定	佐比内鉄鉱山遺跡	上郷町
12	建造物	市指定	佐々木家住宅（佐々木精米所店舗兼住宅）	宮守町
13	建造物	遠野遺産	旧青笹村役場庁舎	青笹町
14	景観	遠野遺産	大峰鉱山跡とその周辺	上郷町
15	天然記念物	遠野遺産	上鱒沢の猿ヶ石川沿いの桜並木	宮守町
16	景観	遠野遺産	めがね橋周辺の景観	宮守町
17	建造物	遠野遺産	塚沢神社と奉安殿	宮守町
18	複合	遠野遺産	鹿込小学校跡地のイロハモミジと二宮金次郎象	宮守町
19	石碑	遠野遺産	鱒沢四社・お水神様	宮守町
20	工芸品	未指定	南部家墓所出土品	東館町
21	歴史資料	未指定	伊能嘉矩関連資料	東館町
22	歴史資料	未指定	山名宗信関連資料	東館町
23	歴史資料	未指定	供養絵額	東館町
24	観光施設	未指定	博物館	東館町
25	その他	未指定	写真家浦田穂一氏撮影写真データ	東館町
26	観光施設	未指定	城下町資料館	中央通り(下一日市)
27	観光施設	未指定	蔵の道ギャラリー	中央通り(下一日市)
28	史跡	未指定	下一日市の街並み	中央通り(下一日市)
29	建造物	未指定	遠野駅舎	新穀町
30	工芸品	未指定	河童像	新穀町
31	史跡	未指定	大工町の街並み	大工町
32	建造物	未指定	智恩寺山門	新町
33	観光施設	未指定	市民センター	新町
34	観光施設	未指定	遠野まちなかドキ・土器館	新町
35	無形民俗	未指定	馬っこつなぎ	小友町
36	景観	未指定	早池峰山	附馬牛町
37	無形民俗	未指定	船っこ流し	附馬牛町
38	観光施設	未指定	遠野ふるさと村	附馬牛町
39	観光施設	未指定	自然資料館	附馬牛町
40	自然	未指定	小水内長太郎氏寄贈の植物資料標本	附馬牛町
41	観光施設	未指定	遠野馬の里	松崎町
42	観光施設	未指定	伝承園	松崎町

番号	種別	指定区分	名称	所在地
43	観光施設	未指定	水光園	松崎町
44	無形民俗	未指定	茅葺屋根保存協会	青笹町
45	景観	未指定	ワサビ田	宮守町
46	無形民俗	未指定	湧水念仏	宮守町
47	無形民俗	未指定	築場	宮守町
48	景観	未指定	ホップ畑	市内
49	建造物	未指定	歴史的建造物（町家・土蔵・洋風建築・その他）	市内
50	史跡	未指定	軽便鉄道の橋脚(めがね橋)	市内
51	史跡	未指定	軽便鉄道のトンネル2カ所 (仙人トンネル・宮守トンネル)	市内
52	史跡	未指定	軽便鉄道の軌道跡	市内
53	無形民俗	未指定	ムカイトロゲ	市内
54	無形民俗	未指定	語り部	市内
55	食文化	未指定	ジンギスカン	市内
56	食文化	未指定	郷土料理（ひつつみ・けいらん・やきもち・ かねなり・雑穀料理など）	市内
57	その他	未指定	遠野物語ファンタジー	市内
58	その他	未指定	遠野小学校「遠野の里の物語」	市内



図4-7 4 関連文化財群「平地人を戦慄せしめよ」 市街地の文化的資産分布図

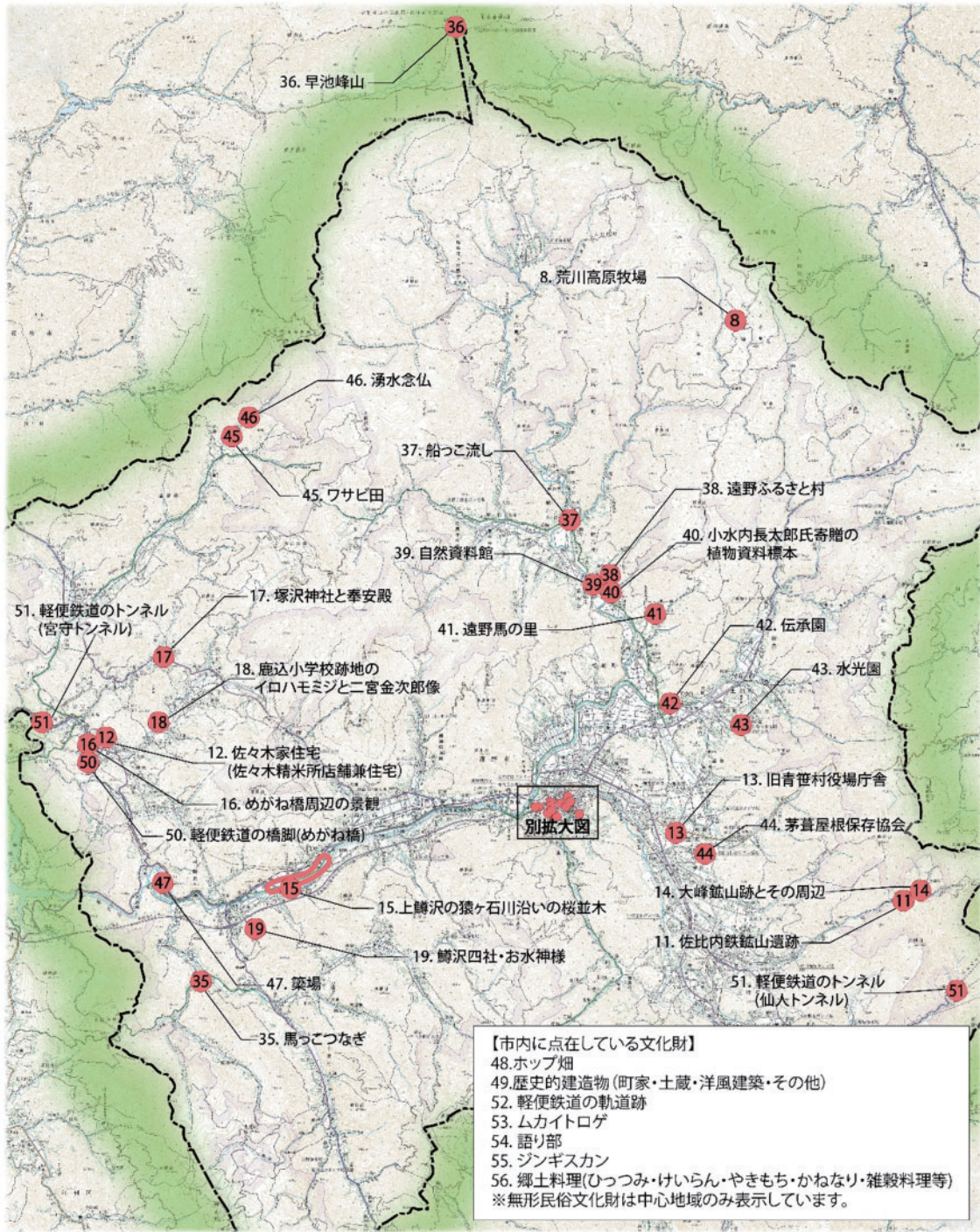


図 4-8 4 関連文化財群「平地人を戦慄せしめよ」 文化的資産分布図



写真 4-1 高清水展望台から望む遠野盆地の雲海  
『遠野物語』を育んだ世界